

『肢帯型筋ジストロフィーの臨床病型と 画像所見に関する研究』 お知らせ

1. 実施目的について

肢帯型筋ジストロフィーとは、肩周りから腕、腰周りから太ももの筋肉が特に、徐々に萎縮し、筋力が低下する疾患です。肢帯型筋ジストロフィーの中でも、さらに詳しく病型(原因蛋白)がわかれています。筋生検や遺伝子検査によって、詳しい病名が特定される場合があります。

しかし、筋生検や遺伝子検査をしなくても、もっと簡便な方法(今の場合、全身筋のCTやMRI)で、詳しい病名を特定できるようになることが望ましいと考えます。そこで、今回の研究は、すでに、肢帯型筋ジストロフィーの中でも詳しい病名が診断されている患者さまの、全身筋CTを撮影し、その特徴を解析することで、詳しい病型とCT・MRI所見との関連性を調べることを目的としています。

2. 実施内容について

これまで、肢帯型筋ジストロフィーと診断され、さらに、特定の病型であることが判明して、過去に全身筋のCTあるいはMRIの検査をおこなったことがある患者さまが対象です。

この患者さまの年齢、性別、重症度、血液検査、呼吸機能検査、心機能、脊柱変形の有無、病理学的検査、筋CTあるいはMRI検査などのカルテ情報を、匿名で、横浜労災病院、国立精神神経研究センター病院、国立病院機構鈴鹿病院へ送り、解析します。

3. 研究代表者

当院 石田 千穂(医王病院 第三診療部・神経内科 診療部長)

4. 調査対象期間

2016年5月1日から2017年8月31日までを調査対象期間とします。

5. 個人情報およびプライバシーの保護について

それぞれの患者さまの個人情報は、個人が特定できないデータに変換された上で、データファイルが作成、保存、分析されます。この研究により、個人情報やプライバシーの漏洩や公開は生じません。

この研究の成果は、個人が特定できないデータとして、学術的な場でのみ公表します。

6. 本研究に関するお問い合わせ

上記のように、個人情報やプライバシーを保護した状態であっても、調査対象となることを拒否される場合、また、この研究についてご質問がある場合には、下記までお問い合わせください。

医王病院 神経内科 石田千穂

国立病院機構 医王病院病院長 駒井清暢